

中国語の量詞“个”について
— “V 个 O”形式を中心に—

白 珍花

(言語文化専攻 言語・情報学研究コース)

キーワード：量詞“个”，“V 个 O”，“V 一个 O”，不定の量，非量

修士論文目次

0. はじめに	4. <u>“V 个 b O”形式</u>
0.1. 中国語の量詞	4.1. <u>“O”の分類</u>
0.2. 量詞“个”の概要	4.2. <u>“O”が【具体名詞】である“个”の機能</u>
1. <u>理論的背景</u>	4.3. <u>“O”が【人間名詞】である“个”の機能</u>
2. 先行研究	4.4. <u>“O”が【抽象名詞】である“个”の機能</u>
3. <u>研究方法</u>	4.5. <u>まとめ</u>
3.1. <u>考察対象</u>	5. “V 个 c O”形式
3.2. <u>用例抽出</u>	6. 結論と今後の課題
3.3. <u>判断基準</u>	6.1. 結論
3.4. <u>各類の用例数</u>	6.2. 今後の課題

下線部分が本稿でまとめた箇所。小項目の一部は省略している。

0. はじめに

中国語の“V 个 O”形式は“V 一个 O”形式から“一”が省略されたものと理解されている。例えば、“帮个忙”「助ける」は“帮一个忙”「一回助ける」の縮約形であり、“举个例子”「例を挙げる」は“举一个例子”「例をひとつ挙げる」の縮約形と見做されている。但し一方で、“喝个茶”「お茶を飲む」、「加个油」「頑張る」のように“个”を“一个”に復元できない場合もある。“V 个 O”形式と“一个”との関係を図1にまとめる。

“V 个 O”	{ “一个”から“一”が省略された： “一个”から“一”が省略されたのではない： }	【形式】	【機能】
		V(一)个 O	名量詞
		V 个 O	非量詞

図1: “V 个 O”形式の分類

“V(一)个 O”形式の“个”は名量詞として理解されがちである。しかし、次のような例も存在する。

(1) 他骑个车子就跑了。

「彼は自転車に乗って逃げた。」

[路遥 人生]

例(1)の“骑个车子”「(小型の)車に乗る」の中の“个O”部分は“一个车子”「車一台」、と置き換えることができないため、名量詞ではない。本稿では、“一个”から“一”が省略された“V个O”形式を“一个”の性質により再分類し、各類で“个”が持つ機能を明らかにする。なお、文中の日本語訳、例文番号、囲み線、下線は筆者による。

1. 理論的背景

“V个O”形式を分類する前に、“一”が省略できる場合と“V一个O”形式と“V个O”形式の関係について考察を行う。

1.1. “V一个O”形式と“V个O”形式

“个”と“一”の関係の詳細に記述した研究である呂叔湘([1945]1990)と興水優・島田亜美(2009)では、数量について明確にする必要がない場合“一”を省略することができる述べている。このことから、“V一个O”形式から“一”が省略できるのは、実数の意味を表さない“一”であるという事から“V一个O”形式と“V个O”形式の関係は以下の図2のようにまとめられる。

	【形式】	【意味】	【特徴】
“V一个O”	“一”が実数： “V一个aO”	[1つ、2つ…]	省略不可
	“一”が実数ではない： “V(一)个bO”	[ある…]	省略可

図2: “V一个O”形式の分類

“V一个aO”形式と“V(一)个bO”形式について、以下に具体的な例を挙げて説明する。

(2) 每天她都是从早忙到晚, 有时只能趁手术间隙吃个馒头充饥。

「彼女はいつも毎日朝から晩まで忙しい。時には、手術の合間の時間にマントーを食べてお腹を満たすことしかできない。」

[故事会]

(2)¹ 他用车推菜到15里外的县城去卖, 父亲叮嘱卖了菜允许吃一个馒头, 加一碗挂面汤。

¹ 例(2')は例(2)との対比のため、“吃一个馒头”「ひとつのマントーを食べる」をコーパスで検索し、得られた用例である。以下、例文番号に'を付したものは全て同様。

「彼は手押し車を押して15里離れた大きな街まで野菜を売りに行く。父親は、野菜を売ったら、マントーを1つ、さらには汁麺を1杯食べて良いと言った。」

[漫谈艺术 钱绍武]

例(2)の“吃个馒头”「マントーを食べる」は「マントーを1つ食べる」という意味ではない。この“吃个馒头”は「マントーしか食べられない」という意味を表す。仮に、マントーを2つ、3つ食べたとしてもこの表現は使える。例(2')の“吃一个馒头”「ひとつのマントーを食べる」は必ず「ひとつ」で、“一”を省略した“吃个馒头”の形に入れ替えることができない。このように、“V一个O”は数量について明確にする必要がある場合、省略することができない。例(2')が“V一个aO”形式で、例(2)が“V(一)个bO”形式である。

1.2. “V个O”形式の再分類

“V一个O”形式と“V个O”形式の関係から、“V个O”形式について再分類したのが以下の図3である。

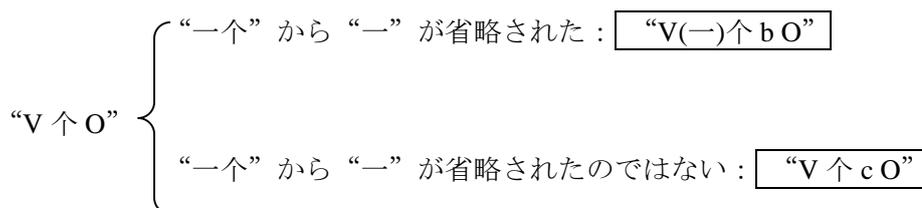


図3: “V个O”の再分類

以上の図2と図3をまとめると、“个”は表1のように3つに分けることができる。

表1: “个”の分類

表記	形式	機能
个a	V一个aO	名量詞
个b	V(一)个bO	?
个c	V个cO	非量詞

1.3. “一个”が持つ機能

先行研究として“一个”の機能について詳しく分類、説明している輿水優・島田亜美(2009)と大河内康憲(1997)を以下にまとめる。

・「数量表現」を表す。

(3) 两个孩子, 一个是男的, 一个是女的。

「2人の子供は、1人は男、1人は女である。」

・「不定」の意味を表す。

- (4) 前面来了(一)个人。

「前方から誰か[1人]やって来た。」

・「具体化」する機能を果たす。

- (5) 公园后面有(一)所学校。

「公園の裏に学校がある。」

・「動作の量」を表す。

- (6) 我打(一)个电话告诉他吧。

「私は1つ電話して彼に知らせよう。」

例(3)は数量表現であるので省略することができない。例(4)は存現文で、「人」の位置には不定の名詞が置かれ、数量詞によって不定の意味を示したものである。例(5)は数量詞によって名詞に具象性、個別性が生じ、“学校”が具体的な存在として理解されるもので、英語の不定冠詞の用法と似ているといえる。例(6)は動詞と賓語の間に“(一)个”を置いて動作行為の回数(動作量)を示している。数詞を用いるとしても“一”に限られ、日本語の「ひとつ…しよう；ちょっと…する」に相当する表現となる。また、意味・機能の点で、動詞の重ね型を用いた表現に似ている。この“(一)个”が動作量を表す用法は2つ並べることによって「ちょっと…したり、…したり」といった表現になる。

大河内康憲(1997)では、“一个”の機能に関して以下のように述べている。

類名や総称である名詞は単体ではない。ある種の抽象の中にある。これを具体的世界の「もの」にかえるのが“一个”の働きであり、その働きを経て、あれこれの指示が可能な「もの」となるのである。つまり、類名や総称というものを特定の個体にまとめ上げる働きをしている。

大河内康憲(1997: 63)

- (7) 这儿有警察吗?

「ここに警察がいるのか。」

大河内康憲(1997: 61)

- (8) 这儿有(个)警察吗?

「ここにあの警察はいるのか。」

大河内康憲(1997: 61)

例(7)のように“一个”がない文は日常的な問いになる。なぜなら、求められるのは警官であればだれでもよく、特定の警官を問題にしてないからである。単数、複数の差で“一个”の生起の有無を理解しようとする立場もあるが、例(7)は多数の警官を、例(8)が一人の警官を示すために使い分けられているのではない。2つの文の使い分けは、誰彼を問わない警官と、特定の個人を指す違いにある。例(8)の“警察”は聞き手に特定できるかできないかにはかかわらず、話者の意識では特定の警察を指している。

以上の先行研究を参考に、筆者は“个b”の機能について以下の3つの仮説をたてる。

1. 不定の意味を示す。
2. 名詞に具象性、個別性が生じ、具体化する。
3. 類名や総称というものを特定の個体にまとめ上げる働きをしている。

以下ではこの仮説の検証を行う。

2. 研究方法

2.1. 考察対象

朱徳熙(1982)は、動賓構造をその形式によって「粘着型」と「統語型」の二種類に分けている。「粘着型動賓構造」の動詞は、補語や接尾辞を伴わない単独の動詞からなり、賓語は修飾語を伴わない単独の名詞からなる。そのような条件に合致しない動賓構造はすべて「統語型動賓構造」に属する。

粘着型		統語型	
吃饭	「ごはんを食べる」	吃完饭	「ごはんを食べおわる」
买票	「チケットを買う」	买了票	「チケットを買った」
说话	「話をする」	说着话	「話をしている」

朱徳熙(1982: 146)

本稿では、「粘着型動賓構造」の“V 个 O”形式と「動賓型の複合動詞」の“V 个 O”形式を考察対象とする。

2.2. 用例抽出

用例抽出には、“北京大学汉语语言学语料库”「北京大学中国語言語学コーパス」を用いた。“北京大学汉语语言学语料库”は北京大学中国語言語学研究センターによって制作されており、4.77 億文字の規模で 18 部門に分類されている。本稿では 18 部門の内、新聞、雑誌、小説、ブログ、口語など 11 部門の中から用例を抽出した。

“北京大学汉语语言学语料库”で“个”を検索し、その中から“V 个 O”形式を手作業で集めた。全用例から判断動詞の“是个 O”と存在動詞の“有个 O”形式を除いた結果、420 例が得られた。異なり例数は 286 例である。286 例の内訳は「粘着型動賓構造」が 236 例で「動賓型の複合動詞」が 50 例である。

2.3. 判断基準

今回収集した 286 例の動賓構造をまず、“一个 O”形式に変えて再びコーパスで検索する。するとその結果、286 例のうち、192 例が“一个 O”形式で現れ、残りの 94 例は“一个 O”形式がコーパス中に現れなかった。次に、コーパスに現れなかった 94 例について 4 人の中国語母語話者(表 2 参照)にアンケート調査を行った。その結果、4 人全員が“一个 O”と言えると判断した用例が 18 例あった。コーパス中に“一个 O”が現れた 192 例とこの 18 例を

合わせた 210 例が “V 个 b O”、残りの 76 例が “V 个 c O” に該当するものと考えて分類した。

表 2: インフォーマント情報

	生年	性別	出身地
a	1985	女	中国湖南(南方)
b	1984	女	中国吉林(北方)
c	1984	男	中国北京(北方)
d	1987	男	中国贵阳(南方)

3. 考察

本節では “V 个 b O” 形式の “O” に入る名詞に関する分類を行う。名詞分類に関する論考として、鳥井克之(2008)を参考にする。鳥井克之(2008)では、名詞を「人間を表すもの」、「具体的または抽象的な物を表すもの」、「時間を表すもの」、「場所を表すもの」に分けている。本研究で、「時間名詞」は現れていないため、分類項目から外す。そして、「場所名詞」は「抽象名詞」のカテゴリーとして設定する。その結果、具体名詞が 54 例、人間名詞が 48 例、抽象名詞が 108 例であった。

3.1. “O” が【具体名詞】である “个” の機能

“O” が【具体名詞】である “V 个 b O” 形式は、210 例中 54 例であった。その中の【不定】を表す “V 个 b O” 形式とその用例、【非量】を表す “V 个 b O” 形式と用例の二点について考察する。

- 【不定】を表す “个” の機能(33 例)

以下に、【不定】を表す “V 个 b O” 形式の用例を示す。

(9) 他俩问他提个篮子干啥去啊?

「彼ら二人は『手提げ籠を持って何をしに行くんだ』と彼に聞いた。」 [路遥 人生]

例(9)の “提个篮子” 「手提げ籠を持つ」は、“篮子” 「手提げ籠」の個数ではなく、「不定」を表す。例(9)で、“篮子” の数が 2 つや 3 つの場合でもこの表現を使う。一方、以下の(9')のように “提一个篮子” 「手提げ籠をひとつ持つ」という表現を用いた場合は “篮子” の数は「1 つ」だとし読み取れず、2 つや 3 つの場合は使えない。

(9') 他手里提着一个篮子，里面装了几件木匠用的工具。

「彼は手に、いくつかの大工の道具が入ったかごを持っている。」 [木匠老陈 巴金]

- 【非量】を表す“个”の機能

この種類の“O”は動詞の後ろで動賓構造を形成し、複合動詞²となって、動作対象が一体となった行為を表す。この種類のものは“一个”が省略された「不定」のものとしては見られない。以下に、【非量】を表す“V 个 b O”形式の用例を示す。

(10) 他觉得问题重要, 打算写个文件下去。

「彼は問題が重要だと思い、報告書類を書くつもりでいる。」 [梁斌 红旗谱]

(10') 贝奈斯写成了一个文件, 并抄了一式两份, 签上名字。

「ベイナスは、一つの書類を書き上げて、さらにそれを 2 部用意し、サインをした。」
[沈永兴 朱贵生 二战全景纪实]

例(10')は数量を表す“一个”の例であり、例(10)は実は数量というよりも、「非量」を表す“V 个 c O”形式である。

- “O”が同じである“个”の機能

“O”が【具体名詞】である“V 个 b O”形式は、同じ“O”において、違う機能を果たす場合がある。以下にその用例を示す。

(11) 说开封府的人正好来送个文件, 马上就进来了。

「開封府の人がちょうど書類を届けるに来るそうだから、すぐ入ってくるよ。」 [网文]

例(10)の“写个文件”「書類を書く」と例(11)の“送个文件”「書類を届ける」は“O”の部分と同じだが、例(10)は「非量」を表す“个”であり、例(11)は「不定」を表す“个”である。例(11)の“文件”「書類」は「具体的なもの」であり、“送三个文件”「3つの書類を届ける」のように数詞で修飾することができる。一方、例(10)は、数詞を入れることができない。

3.2. “O”が【人間名詞】である“个”の機能

“O”が「人間名詞」である“V 个 b O”形式は、210 例中 48 例であった。“O”が「人間名詞」である場合の“个”は、【不定】と【非量】を表すことができる。さらに【不定】を表す“V 个 b O”形式は文脈によって、【不特定】と【特定】に分かれる。

² 大河内康憲(1997:67)では、例えば“吃饭, 说话, 看书”は動作表現とはいえ、主語がどのような状況下にあるかを問題にしている。主語が特定の目的語に働きかける動作性、その目的語が何たるかに視点は無い。目的語は動詞の付き合いをして、もっとも情報価値の乏しいものがついたにすぎず、動詞と一体となった類型的行為を表すに過ぎないと述べている。この観点は本稿の「複合動詞」に近い解釈である。

● 【不定】を表す“个”の機能

以下では、まず、“个”が【不定】かつ【不特定】機能で働いている例を挙げる。

(12) “那还得派个团长来呀!”刘胜望着沈振新说。

「『じゃあ、団長をよこしてもらわなければ。』と劉勝は沈振新を見ながら言った。」

[吴强 红日]

例(12)では【不定】の「团长」を指しており、“个”がその【不定性】を生み出している。

次に、“个”が【不定】の【特定】機能を果たしている例を挙げる。この機能は1.4節で挙げたように、類名や総称というものを特定の個体にまとめ上げる働きをしている。

(13) “院长，下次请个名家给你写幅字吧，没关系，我和他很熟。”

「学院長、今度書の名人を呼んで、一幅の字を書いてもらいましょう。大丈夫です。」

彼は私の古い知り合いですから。」

[读者]

例(13)では、文の後半の“他”「彼」が“名家”「名人」を受けており、したがって、この“名家”は【特定】と解釈するのが妥当である。この例の“个”は【不定】の中の【特定】を表すと考えられる。【特定】とは話者がある特定の人やモノ、コトを指すときに用いる“个”の機能を指す。

(14) 街上行人极少，店铺也不开门，想找个人问问，想买点什么吃的，都办不到。

「道を行く人は少なく、店も開いていなかった。誰かに、食べ物を売っている店はどこにあるか聞きたくてもできなかった。」

[欧阳山 苦斗]

(14') 信中说：“我叫张二德，是本溪钢铁厂老工人。我要找个人一直没找到，最近从报上看到邓友梅这个名字…”

「手紙には、『私は張二徳と申します。昔から本溪鋼鉄工場で働いていた労働者です。」

私にはずっと探している人がいるのですが、最近新聞で鄭友梅という名前を見て…」

と書いてあった。」

[邓友梅 曼谷遇老乡]

例(14)の“找个人”は「誰かを探す」という意味を示し、その“个”は【不定】である。例(14')の“找个人”は「人を探す」の意味を示し、その「人」=「鄭友梅」という人で、“个”の機能は【特定】である。

● 【非量】を表す“个”の機能

以下に、【非量】の機能を表す“V 个 b O”形式の用例を示す。

- (15) 他现在又强烈地产生了要离开高家村，到外面去当个工人或者干部的想法…
「彼は今また、高家村を離れて、ほかのところに行って、工場労働者か幹部にでもなろうという考えが強烈に生じてきた。」 [路遥 人生]

例(15)は具体的な「人」を指すのではなく、肩書きを表すもので、「任意」「ひとつ」「選択」といった「不定」の読みを成立させる条件に合わない。この種類の“个”は「不定」を表さない。

3.3. “O”が【抽象名詞】である“个”の機能

“O”が「抽象名詞」である“V 个 bO”形式は、210 例中 108 例であった。1.4 節で挙げた“个”の2つ目の機能は「名詞を具体化させ、具象性や個別性を伴せる」ということである。“O”が「抽象名詞」の事例には、その機能で“个”が用いられているものが多い。

● 【具体化】の機能

以下に、【具体化】を表す“V 个 bO”形式の用例を示す。

- (16) 到了瑞士，才知道开个账户要没有十万会被人耻笑。
「スイスに着いてから、口座を開く時には十万を持っていないと人に嘲笑されると言うことがやっとわかった。」 [网文]

例(16)の“个”は、“账户”「口座」という「抽象名詞」を「具体化」する機能を果たしている。これらの「抽象名詞」は“个”によって「個別化」された後、“V 个 O”形式で数えることができるようになり、「任意の一つ」という「不定」の量を表すことができる。以下に“个”が【不定】の量を表す例を挙げる。

- (17) 你要叫姑爷呢，我感觉不亲热。叫他名字也不是，比如举个例子吧。
「婿殿と呼ぶと親しくないし、名前を呼ぶのもだめだし、たとえばなんと呼べば良いだろう。」 [口語]

例(17)で、“举个例子”「例を挙げる」の“例子”「例」は「抽象名詞」であるが、“个”によって「具体化」され、その後「任意の一つ」という「不定」の量を表すこともできる。

4. まとめ

以上、“V 个 bO”形式である 210 例の“O”を「具体名詞」「抽象名詞」「人間名詞」の3つに分類し、その機能と特徴について調査を行った。分類した結果を表3にまとめる。

表 3: “O” の分類と機能

	不定	非量	合計
具体名詞	33	21	54
抽象名詞	108	0	108
人間名詞	18	30	48
合計	159	51	210

本研究では以下の 2 点を明らかにした。

- 1) “V 个 b O” 形式において、“个” は主に抽象名詞を「具体化」する機能を果たす。そして、“一个” から“一” が省略された “V 个 b O” 形式は主に【不定】を表す。
- 2) “O” の前に“个”を“一个”に「復元」できるかどうかを判断基準として “V 个 O” 形式を分類したところ、“V 个 b O” 形式のなかには【非量】を表す用例が 51 例現れた。このことから、【非量】を表すものは、“V 个 O” 形式において、“O” が動詞の後ろで動賓構造を形成し、“VO” が「複合動詞」であって、動作と対象が一体になっているものであると考えられる。

参考文献

・ 中国語で書かれた文献

吕叔湘([1945]1990)「个字的应用范围, 附论单位词前一字脱落」『汉语语法论文集』北京: 商务印书馆, 144-175.

朱德熙(1982)『语法讲义』北京: 商务印书馆

・ 日本語で書かれた文献

大河内康憲(1997)「量詞の個体化機能」『中国語の諸相』東京: 白帝社, 53-74.

興水優・島田亜美(2009)『中国語一わかる文法』東京: 大修館書店

鳥井克之(2008)『中国語教学(教育・学習)文法辞典』東京: 東方書店

・ 辞典

周之上(2011)『汉语常用离合词用法词典』北京: 北京大学出版社

杨庆蕙(1995)『现代汉语离合词用法词典』北京: 北京师范大学出版社

コーパス

北京大学汉语语言学语料库